

Q2-13 週時程表の作成について教えてください

児童生徒一人一人にあった一週間の時程が求められ、在籍児童生徒数分の週時程を全体にまとめて作成します。以下に例を示しますが、下記の点に留意することが大切です。

- ・児童生徒の自然な生活のリズムや流れを大切にす
- ・一週間、一日の時程の流れが分かりやすいようにす
- ・領域・教科を合わせた指導や総合的な学習の時間については、带状に設定したり、数時間をまとめたりするなどの工夫をする

<〇〇小学校知的障害特別支援学級週時程表例>

	月		火		水		木		金	
	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
1	日常生活の指導									
2	国		算		国		算		国	
3	(図)	(外)	生単		生単		(体)	(理)	(生)	(音)
4	(図)	(体)					(音)	(理)	(生)	(体)
5	学活		(体)	(総)	(体)	(図)	道徳		(音)	国
6	算		(総)		(体/図)					

※平成23年度以降の時数に対応、A:1年、B:5年、()は交流、/ は隔週で実施



<〇〇小学校>

知的障害のある2名の児童に「日常生活の指導」「生活単元学習」を中心に編成しています。毎日の流れが一定になるように带状に設定し、その時間には交流授業がないように工夫しています。児童の時間割表には「朝の会」「なかよしタイム」など児童が理解しやすい名称で示すことも可能です。

児童生徒の状態によっては「日常生活の指導」等を設定せず、各教科等を実施する場合があります。

<△△中学校>



<△△中学校知的障害特別支援学級週時程表例>

3名の生徒に応じて「国語」「数学」等の教科別の指導を実施し、将来の社会参加や職業自立に備えた「生活単元学習」「作業学習」を2単位時間続けて設定し工夫しています。

交流授業はこの例の様に一部の教科等で共に学ぶ機会を設定します。自閉症・情緒障害特別支援学級などで、児童生徒の状態によっては、音楽や美術等を学級で指導し、他の教科を交流授業に設定する場合があります。

	月			火			水			木			金		
	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
1	国			国			国			(体)	国		国	(体)	
2	英			数			体			数			数		
3	(音)	(総)		作業			(音・美/総)	英		生単			作業		
4	(美)	(総)					(総)	(美)	(音)						
5	英	(音)	(美)	(体)	英		生単			英	(体)		理		
6	学活			社						道徳					

※平成24年度以降の時数に対応、A:1年、B・C:2年、()は交流、/ は隔週で実施

<□□小学校肢体不自由特別支援学級週時程表例>

	月	火	水	木	金
1	算	国	社	国	算
2	国	算	(理)	(総)	国
3	(総)	(理)	国	算	(理)
4	社	自立	体	道徳	(外)
5	(音)	(家)	学活	自立	(図)
6	(家/音)		社		体/(図)

※平成23年度以降の時数に対応(6年)、()は交流、/ は隔週で実施



<□□小学校>

「自立活動」は、教育活動全体を通じて行います。障害の状態によっては、自閉症・情緒障害特別支援学級等でも必要に応じて時数を設定して行う場合もあります。

この例は肢体不自由のある児童の障害の実態に感じ、「自立活動」を2単位時間設定しています。児童生徒の状態によっては、必要な時数を更に設定し带状に実施することもできます。